

大阪・関西万博

食品関連調達基準に期待すること

2022/8/1



認定個人情報保護団体 法務大臣認定ADR(裁判外紛争解決)機関

公益社団法人 日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会

有川真理子

日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会

設立 1988年 消費生活に関わる有資格者のネットワーク

全国7支部で約2200名の会員 / 賛助会員 102団体(企業、自治体、団体)

<2030ビジョン: ~ さらなる安全・安心な暮らし、そして持続可能な未来へ ~>

私たちは、社会環境の変動にしなやかに対応し、消費生活全般において、安全・安心に暮らせる社会の構築に貢献します。



ウィークエンドテレホン / なんでも110番/消費者ADR



小中高校、大学・専修学校)講師派遣
自治体や企業等への講師派遣 各種
セミナー・見学会/消費生活アドバイ
ザー試験対策講座/自主研究会活動



消費者問題懇話会・意見交換会等自治
体等の主催する消費生活展等への参加
他の消費者支援団体との協働消費者委
員・モニター等の行政や企業等への派遣

食品関連調達基準に期待すること

- 1.消費者も事業者もお互いにリードを
 - 2.消費者が容易にサステナブルな商品を選択できる状態を
 - 3.未来の消費者にも安定供給を
 - 4.国際水準の導入を
 - 5.認証ありきではなく、「実」の見極めを
 - 6.目標の設定を
 - 7.履行の確保を
 - 8.調達結果報告を確実に
- (その他)消費者への普及啓発

1.消費者も事業者もお互いにリードを

事業者から、消費者から
お互いに
サステナビリティを
高めていこう！



消費者の関心が低いから
基準も下げよう...✗

2.消費者が容易にサステナブルな商品を選択できる状態を



消費者の選択肢は、製品の入手可能性、周囲のインフラ、コミュニティの状況に制約を受けている
=ロックイン効果^{*1}



サステナブルな製品・サービスを容易に入手できる状態に。

売り手側が果たす役割は大きい。

^{*1} Sanne(2002) ₅

3.未来の消費者にも「安定供給」を



4.国際水準の導入を

1 国際水準のレベルを取り入れなければ評価を得られない

世界的に進むケージフリー、ストールフリー、タイフリー、ベターチキンを採用又は目指すことで初めて、評価を得ることができる



卵はケージフリー
EUで生産される卵は液卵含め55%が平飼い・放牧卵。米国も36%の卵がケージフリー。
ブラジル、韓国、タイ、シンガポール、メキシコなど、ケージフリー化が進んでいる。

肉用鶏は飼育密度改善と気絶処理
EUは原則33kg/m²、ブラジルの平均は28kg/m²、タイ国の基準は20~33kg/m²の飼育密度。日本の大手食肉企業54kg/m²。ベターチキンには500以上が移行を表明している。

豚はストールフリー
EUは2013年から妊娠ストール（母豚の拘束飼育）禁止、その他複数国が続く。大手食肉企業（世界1~8位の企業）が2025~2030年までには妊娠ストールフリーに移行する。

牛は繋ぎ飼いをフリー
世界的に繋ぎ飼育は古い飼育方法としてほぼ廃止。常時舎飼いで、放牧しないことが批判されるようになってきている。牛の健康や生産効率の面でも、繋ぎ飼いにメリットは見いだせない。

9

NPO法人アニマルライツセンター様作成、第4回持続可能な調達ワーキンググループ資料より

持続可能性に配慮した調達コードの策定と実行（サステナブル・ソーシングコード） 東京2020大会の case of failure から学び、進化する日本



*GSRA加盟のレーティングプログラム
*GSSI承認の国際漁業認証
*策定予定



ロンドン・リオ大会
東京2020大会
エイムサービス社独自努力による
メインダイニング実際の調達の99%

国際スタンダード
FAO行動規範・GSSI要件を満たす

大阪万博の調達方針目標はここ
Osaka Expo 2025 target

最低限の科学的根拠
FAO行動規範に基づく原則1のみを満たす

大阪万博の調達方針ボトムラインはここ
Osaka Expo 2025 Bottom line

東京オリパラ組織委員会 調達方針

東京2020大会
調達方針
(絶滅危惧種調達OK)

一般社団法人 セイラーズフォーザシー日本支局様事前ヒアリング資料より

5. 認証ありきではなく、「実」の見極めを

例1



環境や安全面の基準はあるが、人権面がカバーされていない

例2



環境や安全などの基準はあるが、それぞれ、もしくは一部がゆるくなっている

→ 不足分をなんらかカバー or より厳しい認証を採用

6.目標の設定を

ミラノ万博2015

キークライテリア(重要検討事項)
原材料のうち、一定の割合を
オーガニックとする。

詳細:原材料のうち、次の重量
比を有機農法で製造されたもの
とする(乳製品 40%/肉類15%/
卵40%/魚介類・養殖物20%/野
菜、果物 40%)。

ドバイ万博2020

必須要件(Control)

- ・UAEからの調達15%以上、
GCC外からの調達
- ・果実、野菜、乳製品、肉、魚の
25%以上を認定されたオーガ
ニック認証品にする。

※いずれもエスニック食品に例外あり

大阪・関西 万博2025

?

7. 履行の確保を

事前の普及啓発・周知徹底を...



Business & Human Rights Resource Centre

English Subscribe Search

Latest News Companies Big Issues From Us Blog Donate About Us Show all languages

Home / Latest News / 日本：“持続可能な”木材調達基準とは呼ばないで！！ 違法な木材さえも調達可能なオリパ



This page is not available in English and is being displayed in Japanese

24 May 2016
国際環境NGO FoE
Japan、地球・人間
環境フォーラム、
熱帯林行動ネット
ワーク (JATAN)

Share



Article

日本：“持続可能な”木材調達基準とは呼ばないで！！ 違法な木材さえも調達可能なオリパラ組織委員会調達基準

Read more

2020年東京大会においては、これまでのロンドン大会やリオ大会の成果を、最低でも同等、望ましくは大きく超えるような成果を目指すことが必須です。組織委員会では「TOKYO 2020 Vision」において、

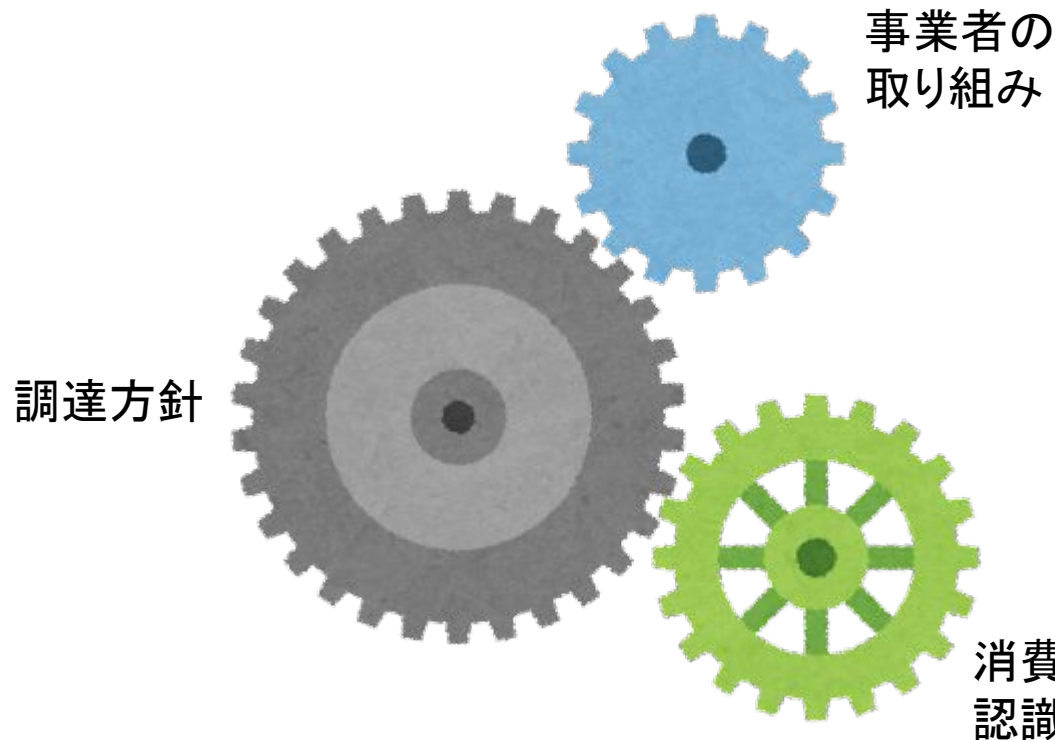
8.調達結果報告を確実に



- ・調達方針の対象比率(量)
- ・調達物の生産地*
- ・認証スキームごとの結果*
- ・説明会などのエンゲージメント
努力をどのくらい行ったか
- ・外部レビュー
- ・目標(設定した上で)結果分析
- ・グッドプラクティス、バッドプラクティスの事例と分析

→事前に報告書作成プラン&サプライヤーに周知などが必要では？

消費者への普及啓発



セミナー（開催前後）
エンタテインメントイベント
多様な広報物
多種多様なメディアでの
カバレッジ
現地ツアー などなど



事業者と消費者が共に高きを目指す調達方針に



- 1.消費者も事業者もお互いにリードを
- 2.消費者が容易にサステナブルな商品を選択できる状態を
- 3.未来の消費者にも安定供給を
- 4.国際水準の導入を
- 5.認証ありきではなく、「実」の見極めを
- 6.目標の設定を
- 7.履行の確保を
- 8.調達結果報告を確実に
(その他)消費者への普及啓発